

『渡良瀬遊水地ガイドクラブ』

(1) 活動内容や実績について

①ガイドの活動内容

- ◆市主催の2年間のボランティアガイド養成講座を経て、平成27年4月より19名にて活動開始する。
- ◆とちぎ夢ファーレ事業を活用し、ガイドに必要なベストやのぼり旗を用意する。
今年度から2期生も加入し、現在32名で活動中。
- ◆ガイド活動日：木、土、日、祝日 10時～14時（案内：約20人/1日）
- ◆待機場所：体験活動センター（ガイド：1，2名で待機）
（主に、谷中村史跡保全ゾーンや谷中湖、ウォッチングタワーを中心に、遊水地の概要、歴史や文化、レジャースポーツ、貴重な動植物など自然環境に関するガイドなどを当日の個人依頼のほか、団体案内も受け付け、自治会や研修会、高校生や外国からの来訪者に案内を行う。）

②遊水池会館管理業務

- ◆湿地資料館移転に伴い、平成27年10月から市より受託
- ◆管理日：土、日、祝日 9時～17時(2名)
（会館内の展示パネルの紹介や、DVDでの遊水地紹介、パンフやチラシで観察会の案内やイベントの紹介など。）…遊水池会館で案内することにより、活動の幅が広がった。

③活動実績

27年度集計	ガイド活動	遊水池会館 管理業務	合計
活動日数	142日	46日	188日
ガイド担当者	226人	46人	272人
案内者数	2,433人	786人	3,219人

(2) 成果

- ◆ラムサール条約登録湿地の渡良瀬遊水地を、ボランティアのガイドクラブが案内することで、テレビ、新聞、ラジオ(FM くらら)、市の広報、タウン誌などメディアに広く紹介される。
- ◆300名を超える高校生の環境教育や自治会などの団体案内を受け入れ、観光以外にも自然や歴史、学習の場として渡良瀬遊水地をPRすることができた。
- ◆遊水池会館にガイドクラブのPRコーナーを設置し、写真等で活動報告を行うことができた。
- ◆クラブ員自身も、遊水地の守り人の一員として今までよりも遊水地に関心を持ち、日々の情報収集をガイドに活かし、来訪者へ案内することで、日常生活に潤いやメリハリができた。

(3) 課題について

- ◆四季折々の自然環境を紹介できるように各自のスキルアップが必要。
- ◆現在、活動日が木・土・日・祝日であるが、2年間受講のボランティア養成講座にてガイド人数が増えれば、活動回数および日々の担当ガイドを2,3名に増やしたい。
- ◆ガイドする際の基本的な案内マニュアルの作成。

(4) その対応について

- ◆日々の情報収集および、月1回のガイドクラブ定例会で情報交換を行うほか、ガイドクラブ員全員の勉強会として専門講師を招いての自主研修を行う。
- ◆ガイド養成講座も4期目となり、毎年20名前後の受講生がおり、クラブ員として活動できれば、月曜日の休園日を除き、ガイドを毎日対応できるようにしたい。
- ◆どのガイドでも基本的な案内ができるように、ガイドクラブとしての統一的な案内マニュアルを作成したい。

(5) 今後は

- ◆治水や利水を基本に、ラムサール条約登録湿地の豊かな自然環境をたくさんの来訪者に伝えるために、これまで以上にガイド活動の幅を広げて行きたい。

問合せ先	栃木市総合政策部遊水地課
	担当:堀江 (電話 0282-62-0919)